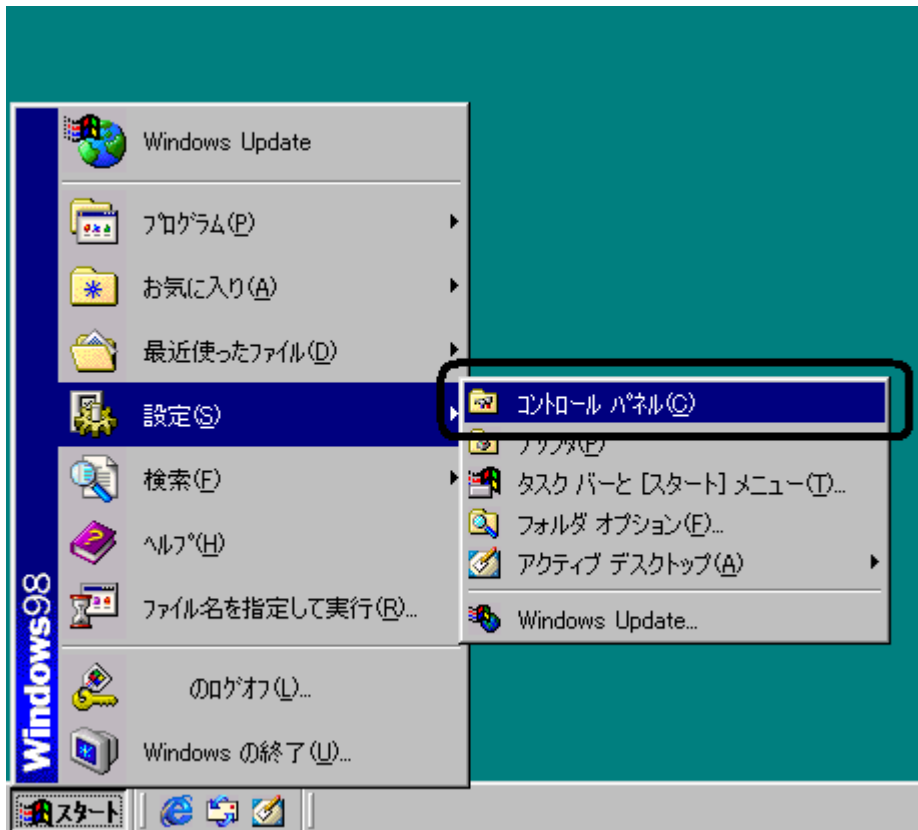


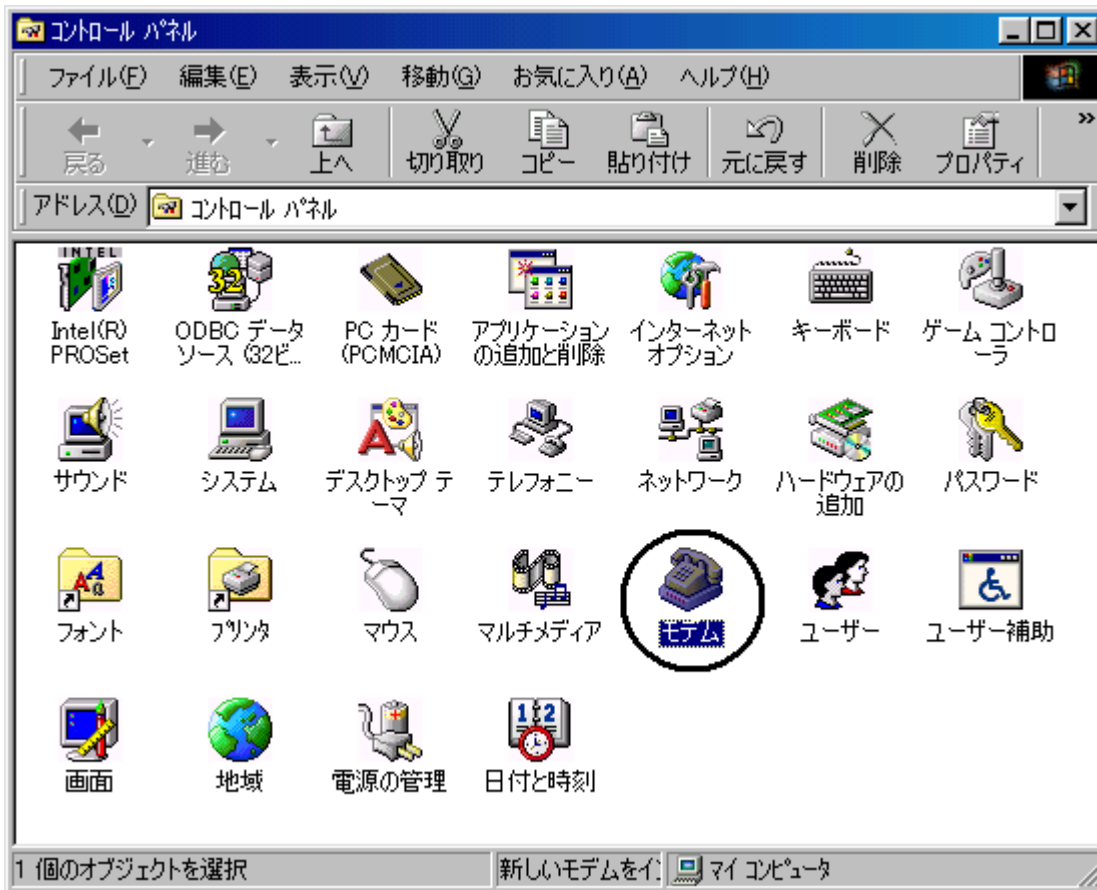
USB ドライバインストール後、モデムとの通信がうまくいかない場合 (Windows 98 SE)

2009 年 8 月 31 日
日本無線株式会社

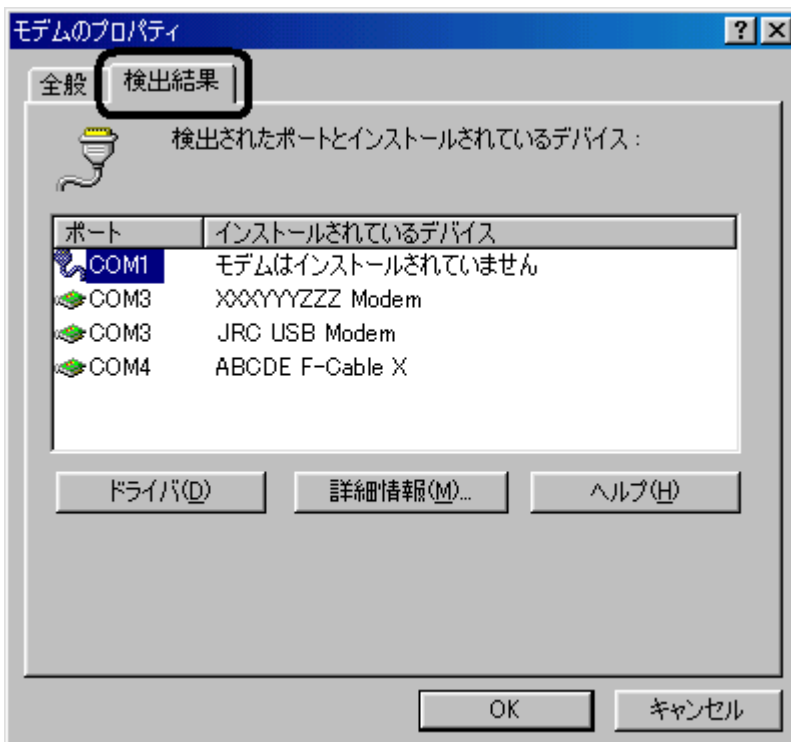
1. AH-J3001V/AH-J3002V (以下、本電話機) とパソコンを USB 接続します。
2. 「スタート」 「設定」 「コントロールパネル」を開きます。



3. 下記画面の「モデム」アイコンをダブルクリックします。

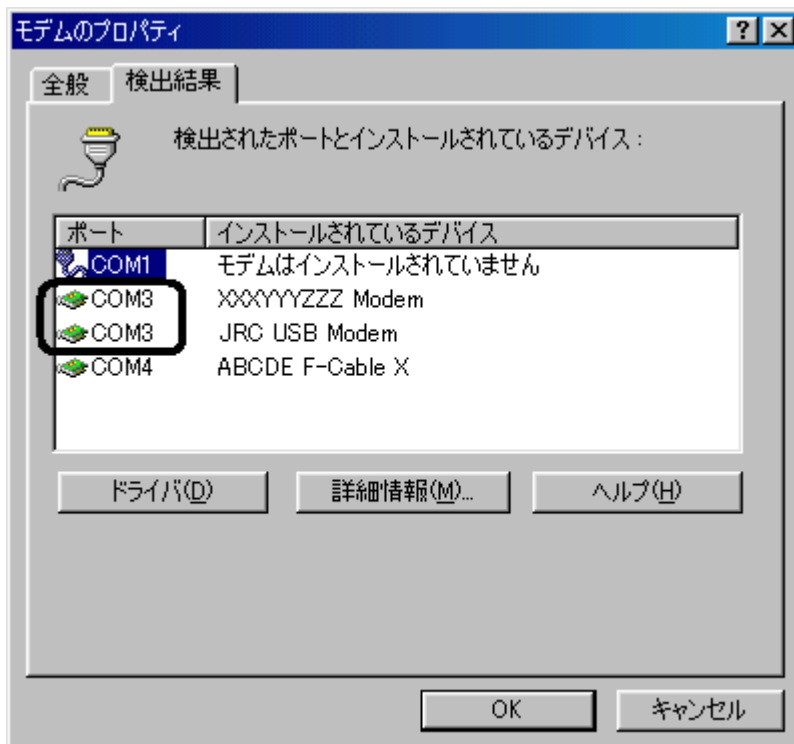


4. モデムのプロパティが表示されますので、検出結果タブをクリックします()。



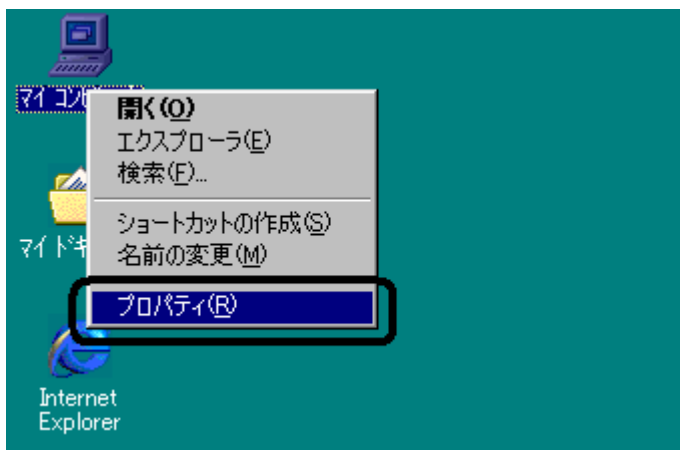
「XXXYYYZZZ Modem」、「ABCDE F-Cable X」は実在するモデムではありません。

5. 検出されたモデムの一覧及び指定 COM ポート番号が表示されますので「JRC USB Modem」に割り当てられた COM 番号と重なっている(同じ COM 番号の)モデムが無いかどうかをチェックします()。



上記画面とは違い、「JRC USB Modem」に割り当てられた COM 番号 (COM3) と重なっているモデムが存在しない場合は手順12へ進んでください。上記画面のように「JRC USB Modem」に割り当てられた COM 番号 (COM3) と重なっているモデムが存在する場合は次の手順へ進んでください。

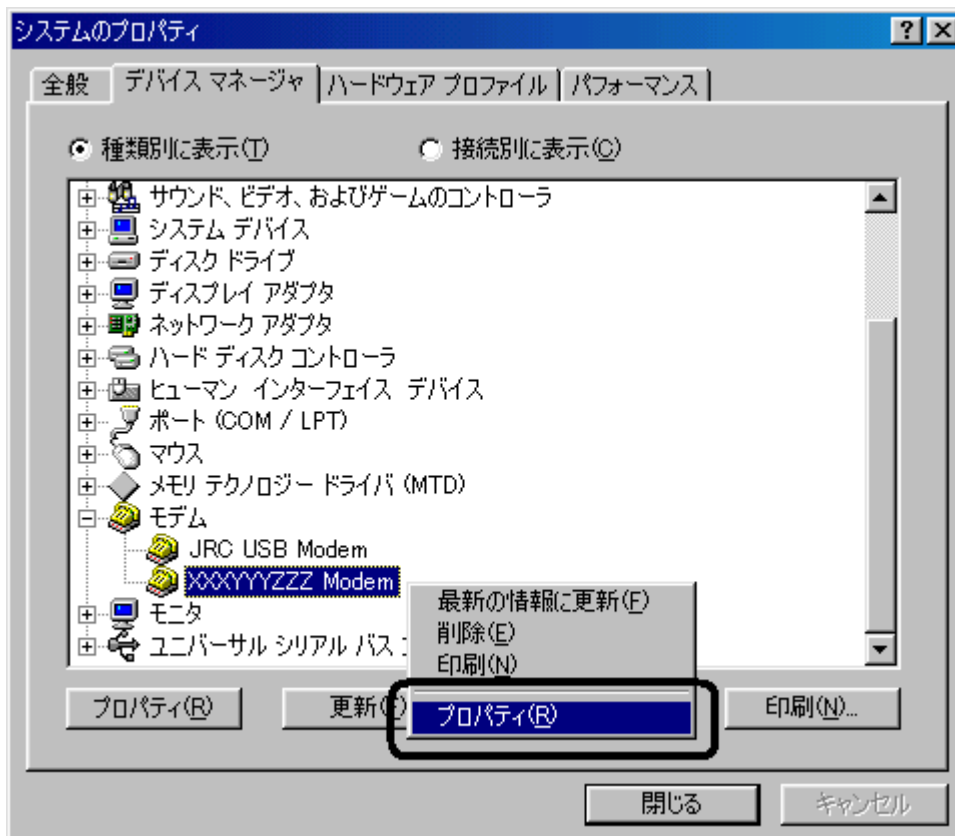
6. マイコンピュータのアイコンを右クリックし、プロパティを左クリックします。



7. システムのプロパティ画面になりますので、「デバイスマネージャ」タブをクリックし、「JRC USB Modem」とCOM 番号が重なっているモデムを確認します。



8. モデム「XXXXYYZZZ Modem」を右クリックし、プロパティを開きます。

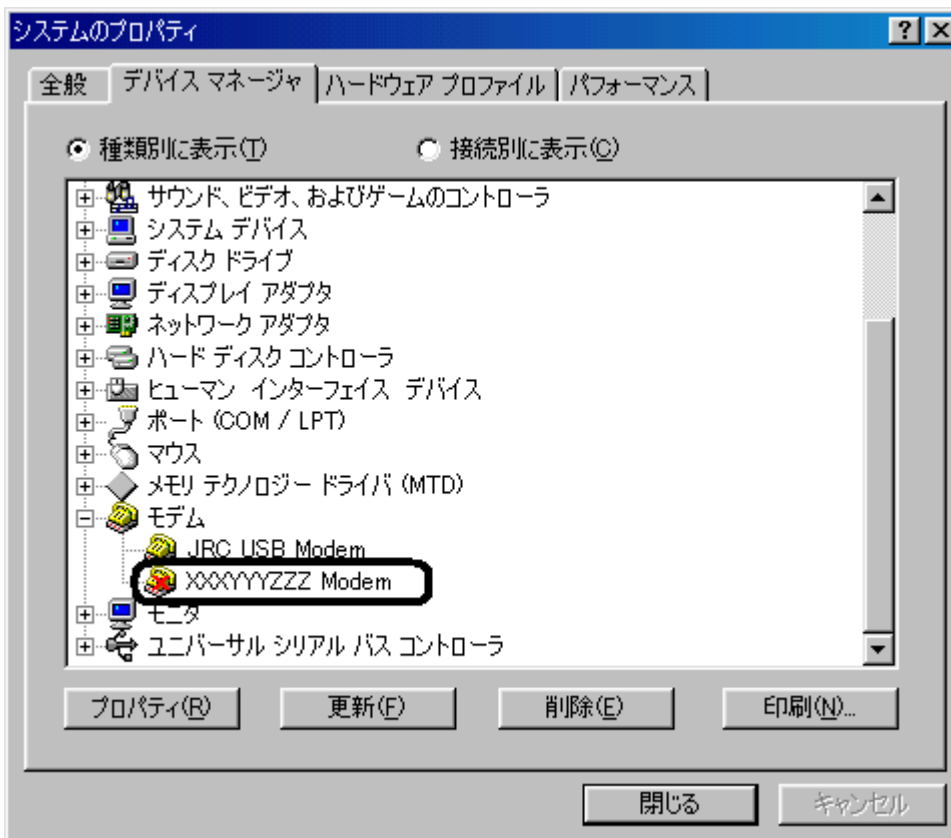


9. 「このハードウェア プロファイルで使用不可にする(D)」をチェックし、「OK」をクリックします()。



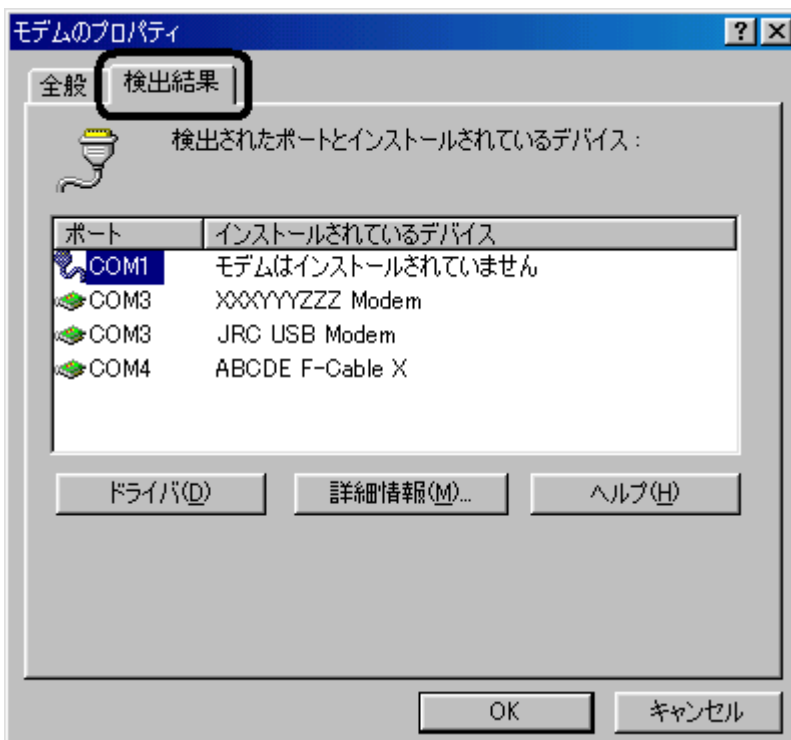
上記の箇所をチェック致しますと、モデム「XXXYYYZZZ Modem」を使用することができなくなりますのでご注意ください。
尚、上記の操作によりパソコンの再起動を求められた場合(手順22)は、パソコンを再起動後、手順6
手順7 手順10と進んでください。

10. デバイスマネージャの画面に戻りますので、使用不可にしたモデムに**赤い×印**がついていることを確認()し、デバイスマネージャを閉じます。

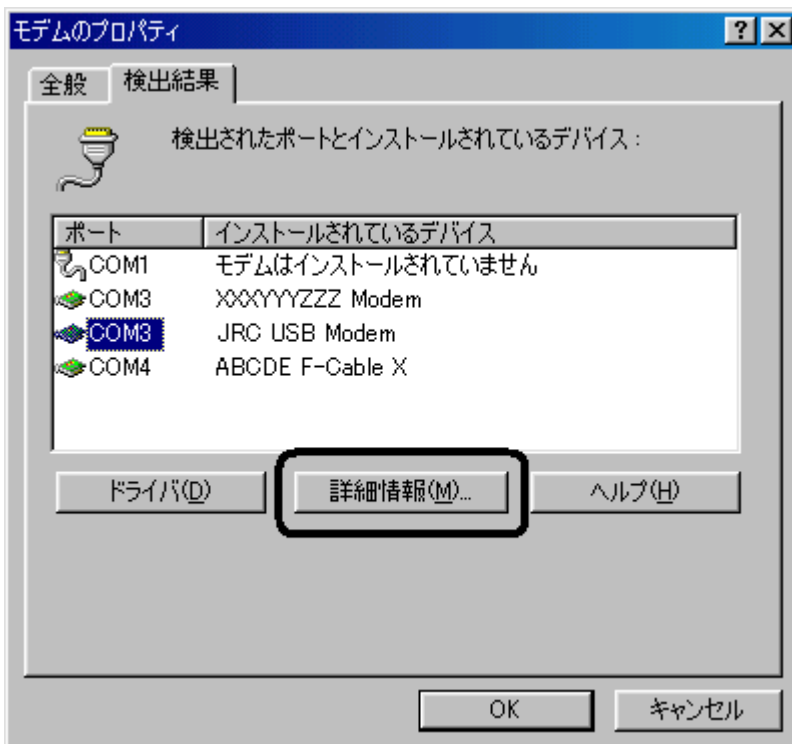


赤い×印がついていなかった場合は、再度手順8～手順9を繰り返してください。

11. モデムのプロパティを開き、検出結果タブをクリックします(手順2～手順4)。



12. 「JRC USB Modem」に割り当てられている COM 番号 (COM3) をクリックした後、「詳細情報」をクリックします。

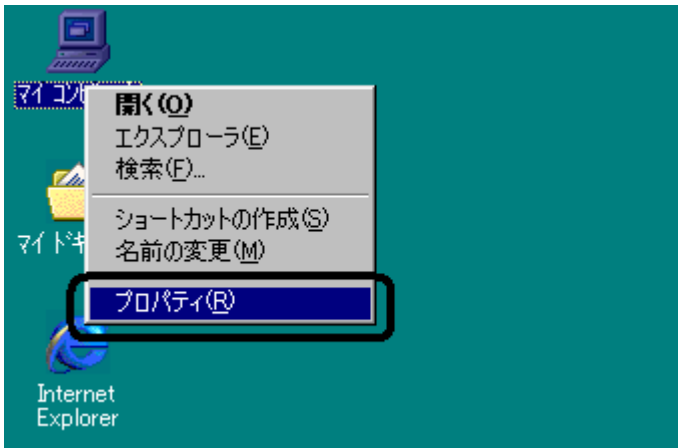


13. 下記のような詳細情報が取得できたかどうかを確認します()。

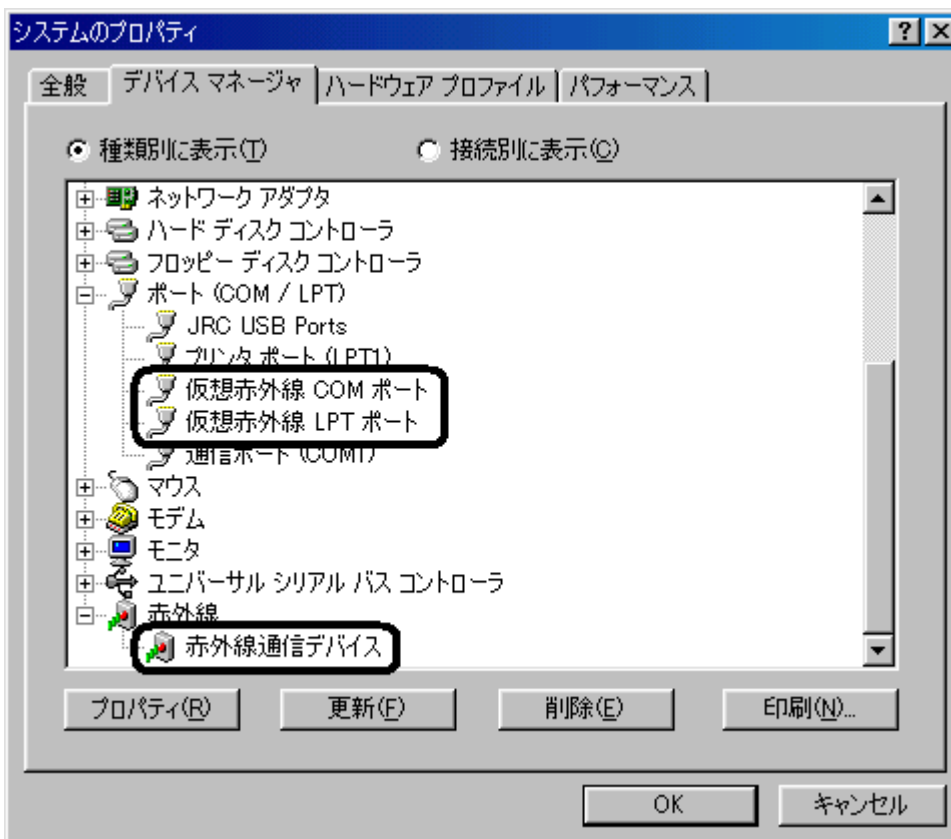


コマンド AT14 ~ AT16 に対する応答については、お使いの電話機により異なりますが、上記のような詳細情報が取得できれば、モデムとの通信が可能となりましたので、このままお使いください。ここで詳細情報の取得が出来なかった場合は、次の手順へ進んでください。

14. マイコンピュータのアイコンを右クリックし、プロパティを左クリックする。



15. システムのプロパティ画面が表示されますので、「デバイスマネージャ」タブをクリックし、「仮想赤外線ポート(COM)」、「仮想赤外線ポート(LPT)」、「赤外線通信デバイス()」が存在するかどうかを確認します。



表記が異なる場合もあります。

上記画面とは違い、「仮想赤外線ポート(COM)」、「仮想赤外線ポート(LPT)」、「赤外線通信デバイス」が存在していない場合は、電話機から USB ケーブルをはずし、パソコンの再起動を行った後、再度電話機に USB ケーブルを接続して手順24へ進んでください。

16. 「仮想赤外線ポート(COM)」を右クリックし、プロパティを開きます。

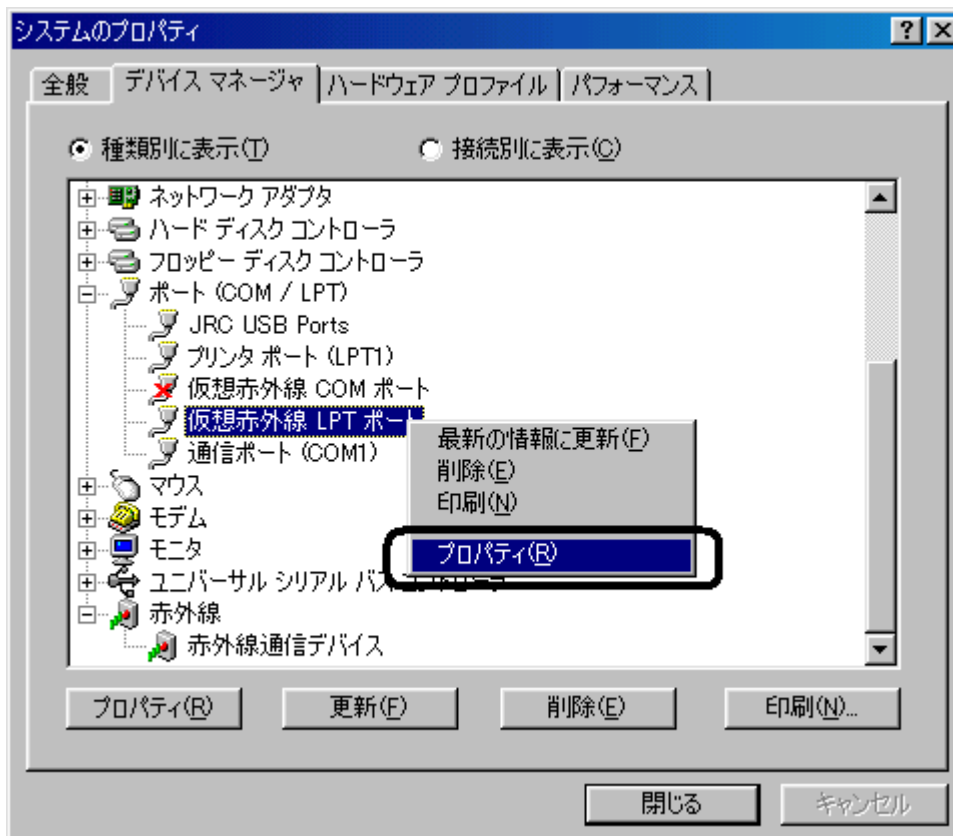


17. 「このハードウェア プロファイルで使用不可にする(D)」をチェックし、「OK」をクリックします()。



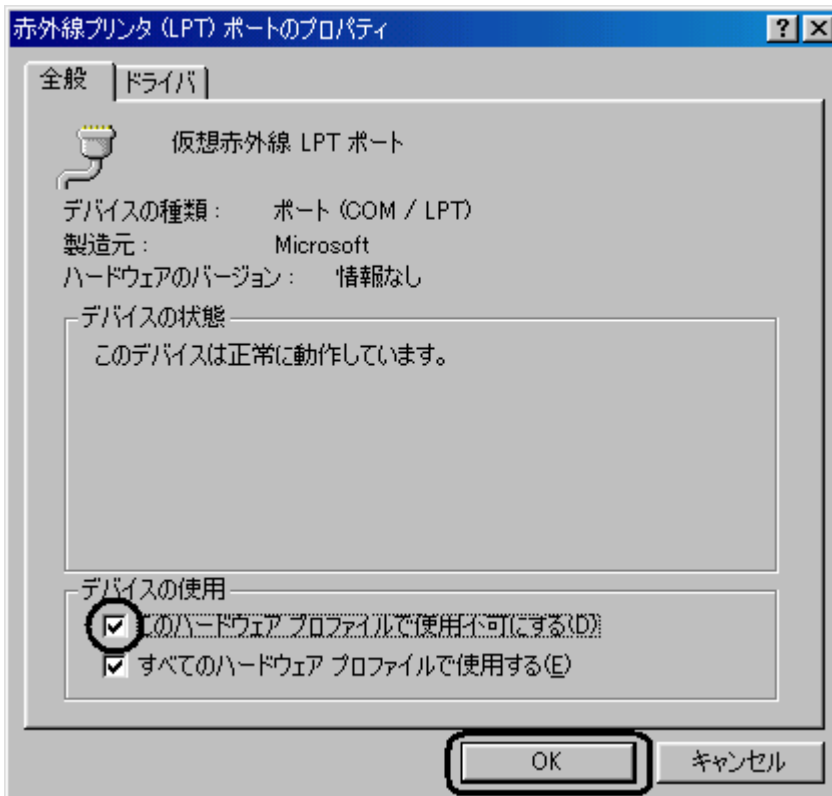
上記の箇所をチェック致しますと、仮想赤外線 COM ポートを使用することができなくなりますのでご注意ください。
尚、上記の操作によりパソコンの再起動を求められた場合(手順22)は、パソコンを再起動後、手順14 手順15 手順18と進んでください。

18. 「仮想赤外線ポート(COM)」に**赤い×印**がついていることを確認()後、「仮想赤外線ポート(LPT)」を右クリックし、プロパティを開きます。



赤い×印がついていなかった場合は、再度手順16～手順17を繰り返してください。

19. 「このハードウェア プロファイルで使用不可にする(D)」をチェックし、「OK」をクリックします()。



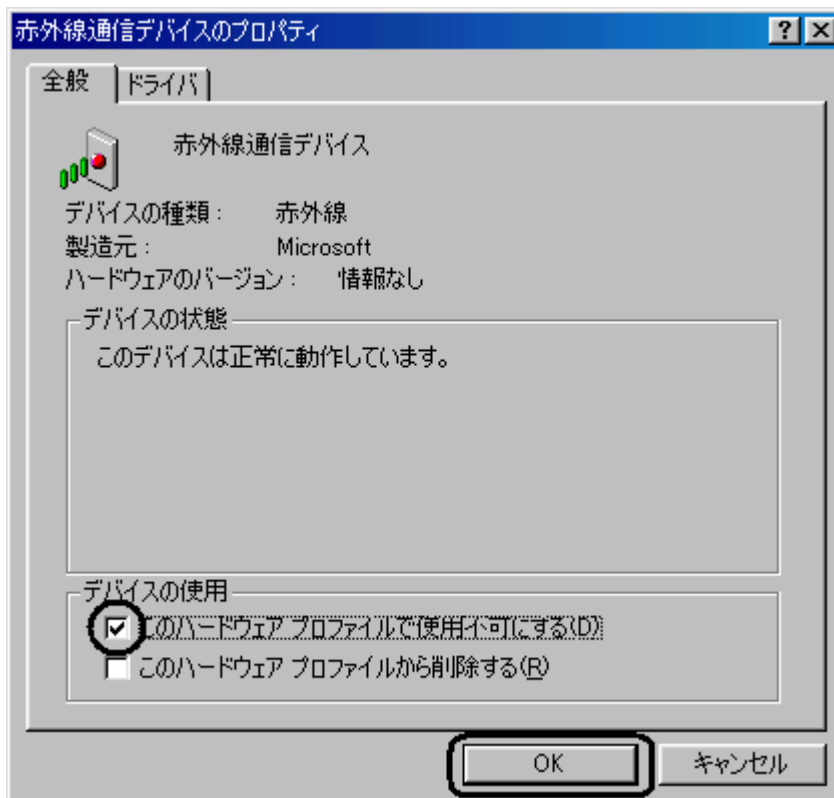
上記の箇所をチェック致しますと、仮想赤外線 LPT ポートを使用することができなくなりますのでご注意ください。
尚、上記の操作によりパソコンの再起動を求められた場合(手順22)は、パソコンを再起動後、手順14 手順15 手順20と進んでください。

20. 「仮想赤外線ポート(LPT)」に**赤い×印**がついていることを確認()後、「赤外線通信デバイス」を右クリックし、プロパティを開きます。



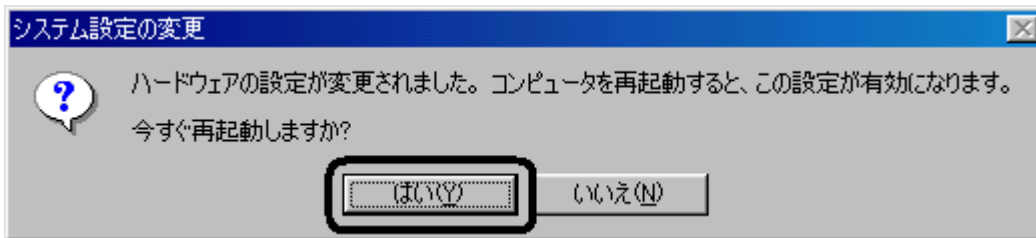
赤い×印がついていなかった場合は、再度手順18～手順19を繰り返してください。

21. 「このハードウェア プロファイルで使用不可にする(D)」をチェックし、「OK」をクリックします()。



上記の箇所をチェック致しますと、赤外線通信デバイスを使用することができなくなりますのでご注意ください。

2.2. パソコンの再起動を行います(下記メッセージにより再起動を促されます)。



上記メッセージが表示されなかった場合でも、パソコンの再起動を行ってください。

2.3. パソコンが起動したら、再度デバイスマネージャを開き(手順14 手順15)、『**赤外線通信デバイス**』に**赤い×印**がついていることを確認します()。



「仮想赤外線ポート(COM)」、「仮想赤外線ポート(LPT)」がデバイスマネージャ上から消えている場合もあります(赤外線通信デバイスを使用可能にすると現れます)。もし**赤い×印**がついていなかった場合は、再度手順2.0～手順2.1を繰り返してください。

2.4. モデムのプロパティを開き、『詳細情報』の取得を行います(手順11～手順13)。

ここで手順1.3のような詳細情報が取得できた場合はモデムとの通信が可能となりましたので、このままお使いください。詳細情報の取得が行えなかった場合は、**JRC サポートセンター**までお問い合わせください。

JRC サポートセンター
一般電話から: Tel. 0570-003899
ウィルコムからの電話・携帯電話から: Tel. 0422-45-7772
受付時間: 9:00～17:00(土日祝祭日除く)